

(一社) 釧路社会的企業創造協議会（北海道）

地域で支えられていた人が支える人に回る
仕組みづくり



音別ふき落団の活動

1. 基本情報

①自治体・団体名	一般社団法人 釧路社会的企業創造協議会
②住所等	T 〒085-0015 北海道釧路市北大通12丁目1-14 TEL・FAX : 0154-25-0288 http://www.sbcc946.com/
③圏域の人口、高齢化率	人口：釧路市 170,384 人 (H30.12) 釧路管内 60,395 人 高齢化率：30.4% (H27)
④生活困窮者自立支援法に基づく事業の実施状況	自立相談支援事業（受託） 就労移行型インターンシップ事業（被受給者就労準備支援事業）（釧路市受託事業） 就労準備支援事業（受託）・一時生活支援事業（受託）
⑤主な事業・活動（④以外）	地域づくり・地域連携業務（多機関の協働による包括的支援体制構築事業及びいわゆる地域力強化推進事業）

2. 取り組みの経緯・背景

- 平成16年度より、釧路市生活福祉事務所が母子世帯の母親を対象にした自立支援に取り組み、「自立支援プログラム釧路モデル」をスタート。稼動収入から無償奉仕まで多様な働き方（中間的就労）の場づくりを進め、資源開発に取り組んできた。
- 釧路市における生活困窮者に対し、社会的な居場所づくりと雇用の場を創出することを目的として、平成24年に法人を設立。

3. 取り組み概要・実施体制

【中間的就労を柱とした取り組み】

①地域の基幹産業である漁業製網作業

- 釧路市・厚岸町の基幹産業である漁業を下支えする製網作業の現場で高齢化が進み担い手不足が課題になっていたため、生活困窮者の中間的就労自立の場として製網作業に取り組んでいる。

【つながる地域づくり】

②音別ふき落団

前期共通カリキュラム講義と演習④
「生活困窮者支援を通じた地域づくり」

- ・旧音別町の地域において、人口減で営農を辞める酪農家が出て生活困窮と孤立化が課題となっていたことから、住民とともに協議し、自生落の栽培、商品化に取り組んでいる。

③子ども食堂

- ・各地域で子ども食堂の立ち上げ、運営を支援。（みはらかがやき食堂、元町お寺食堂）

④相談支援包括化推進会議の設置・運営

- ・資源や情報が集まる結節点（ハブ）となることをめざして相談支援包括化推進会議を運営。

4. 成果と今後の課題

- ・担い手不足が課題となっている製網作業に携わる事で、地域課題と生活困窮者の自立支援の2つの課題を同時に解決する取り組みとなっている。
- ・子ども食堂や音別ふき落団の活動を通して、地域住民のつながりづくりや地域への愛着を深めることにつながっている。